No.283 隔月刊
2025 6

つなぐ
届ける
ゆたかなくらし

URまど

街に、ルネッサンス
UR都市機構
https://www.ur-net.go.jp/

団地イベントピックアップ！ …… 4
私もだんち特派員 …… 5
ボディメンテナンス講座／くらしの知恵 …… 6
かんたんヨガ／防犯・防災知識 …… 7
簡単おうちレシピ／プレゼント …… 8

編集・制作 ㈱高速オフセット

団地deミッケ！

うつくしい桜並木にうっとり 傾斜生かした住棟配置が生む景観

中登美第3
（奈良県奈良市）

毎回テーマを決めて、団地生活の魅力を紹介する「団地deミッケ」。6月号は、ポッドキャスト番組『Shall We 団地』とのコラボレーション企画として、「団地鑑賞家」のKBC九州朝日放送アナウンサー宮本啓丞さんと一緒に、中登美第3を散策。団地の魅力について徹底的に語ってもらいました。

宮本アナウンサー（左）と
その相棒、有馬ディレクター

Navigator

宮本啓丞さん

九州朝日放送（KBC）のアナウンサーで、団地マニアとして全国の団地を巡り、その魅力について熱く語るポッドキャスト番組『Shall We 団地？』を配信中。

歴史とサクラが彩る中登美第3へ！

「学園前」駅からバスで10分ほどの丘陵地に造成された中登美第3は、中心部に向かってなだらかに下っていくすり鉢状の敷地です。この中登美第3は、団地内に桜道と呼ばれる桜並木の遊歩道が整備され、「春に、ぜひ見学したい！」と宮本さんたっての希望で、番組収録を行うことに。同行する同番組ディレクターの有馬さんと一緒に団地の西側から入ると、まずE棟に目を向けた宮本さん。「同じ棟ですが、二つの建物をつなげて、半階分ずらして階段室でつないでいますね。東に向かって、斜面になっていますから、斜面を生かそうとしてこのように建てたんでしょうね」とさっそくマニアックな視点で住棟を分析します。

園児を見守る巨大な壁画

次に目に入ったのが、住棟に描かれた壁画。恐竜（？）と一緒に遊ぶ子どもたち、そして明るく照らす太陽などが描かれています。「団地の敷地に入ってすぐの住棟にも奈良県のゆるキャラの『しかまろくん』が描かれていましたが、この絵は子どもが描いたような絵ですね。絵の先には幼稚園のグラウンドがあるようです。子どもたちから見えるようにここに描かれたのかもしれませんね」と宮本さん。「ほとんど全ての住棟が南向きにベランダがついていますね。関西の住棟の特徴としては、浴室から出られるサービスバルコニーがついていること。これは建設当時のガス会社の給湯器の規格に合わせて設置されているもので、全国的には珍しく、関西だけで見られます」と一つ一つ丁寧に解説してくれます。

サクラが彩る中登美第3

桜並木を歩いていくと、あと少しで満開というサクラが並びます。「建設当時に植えられた木が大きく成長して4階ぐらいまで届いています。ここまで大きく成長できるほど、ゆったり住棟が建てられているということですね」と宮本さん。URならではのポイントに着目して、流れるように解説をしてくれました。いつもと違った視点で眺めるといつもの団地も面白い部分がたくさんあるのです。皆さんもお住まいの団地を散策してみてくださいね。

中登美第3に数棟しかない、南から階段室に入る住棟や、かつての焼却炉跡など、まだまだ語りつくせない中登美第3の探索記はKBCラジオのポッドキャスト番組『Shall We 団地？』でお聴きいただけます！

案内板

まず、こういった配置図を見て考察するのが宮本流の団地鑑賞術です！

団地の壁画

ちょうど幼稚園のグラウンドから見えるように描かれている！？

半階分高さが違う住棟

高さをずらして階段室でつなぐことで、うまく斜面を利用して建設されています！

かるがもマーク

かつての住宅・都市整備公団のマーク。中登美第3の歴史を感じさせます。

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先
緊急事故受付センター ☎0570-004-001
（または☎06-6969-2151）